

建設用3Dプリンターの特徴

工事名：令和5年度三篠川丁地区築堤護岸他工事
受注者：株式会社鴻治組 工期：R5.10～R6.7

- 現地での型枠が不要 現場での作業日数を削減 現場での作業人数も削減
- 熟練の型枠工がいなくても作業可能
- 小構造物・半端物等での工程短縮、法面作業の安全性向上に期待

・安全強度

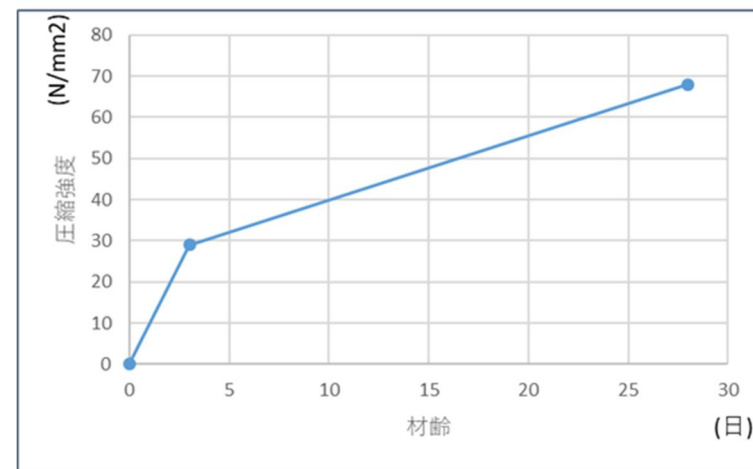
材齢3日時点で30 N/mm²近く、材齢28日時点では70 N/mm²近く強度が発現しており、必要圧縮強度を十分に満たしている。

・密実性

供試体コア写真より積層造形による空隙は確認できず、密実性が確認された。



供試体コア写真



材齢と圧縮強度の関係



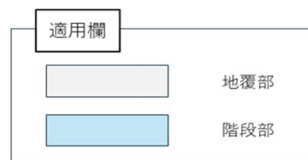
現場打ち

17日 (29人)

地腹部のコンクリート
打設に作業日数を
とられている



プレキャスト



地腹付きで造形



建設用3Dプリンター

4日 (9人)

階段工

